

オレンジ色の夜明けに復興を願う

南三陸町夢大使を務める戸倉出身の画家、外立とし江さんが、11月11日(金)からの10日間、南三陸ホテル観洋で震災復興チャリティー油彩画展を開催しました。

外立さんは、今回の震災により南三陸町の親族7人を失いました。長年にわたり海をモチーフとして絵画を描き続けてきた外立さんは、親族の命を奪った海の絵を描くことができなくなったそうです。しかし、ホテル観洋の女将さんをはじめとする大勢の方々から励まされたことをきっかけに、再びキャンバスと向き合うことを決心。「オレンジ色の夜明けに復興を願う」という震災翌朝の海を描き上げました。

外立さんは、「町の復興を願うとともに、皆さんが早く笑顔を取り戻せるよう、夢大使として少しでも力になりたいと思います。」と悲しみを乗り越えて力強く話しました。



南方の仮設住宅で文化交流

11月3日(木)、南方イオン跡地仮設住宅の広場を会場に、登米市の東郷地区コミュニティ推進協議会主催の「鹿子躍りと郷土料理の文化交流の集い」が開催され、南方の仮設住宅に入居する皆さんと、お互いの文化や食を通じて親睦を深めました。

水戸鹿子躍りと佐沼鹿子躍りの縁をきっかけに行われたこの集いでは、水戸鹿子躍りや地元の皆さんによる演舞や歌が披露され、会場からは大きな拍手が送られました。また、仮設住宅にお住まいの佐藤清太郎さん(㊦十日町)が津波体験談を話し、「津波の体験を後世に伝えていくのはもちろん、全国そして南方の皆さんから受けた温かい支援についても後世に伝えていかなくてはならない。」と感謝の気持ちで涙ぐみました。晴天のなか、会場に集まった皆さんからは、元気な笑顔を見ることができました。



水産業復興の拠点 仮設魚市場オープン

東日本大震災により全壊した南三陸町地方卸売市場に替わる仮設魚市場が10月24日(月)に完成し、午前11時から関係者を招いての開場セレモニーが行われました。

仮設の魚市場は、被災した旧卸売市場から300メートルほど東側に位置し、総事業費約1億8,900万円のうち国庫補助金が約6割、残りの4割は公益財団法人ヤマト福祉財団からの助成金により建てられました。そのほかにも、製氷設備やフォークリフトなどについても各方面の方々からの支援をいただいています。

色鮮やかな大漁旗が風になびくセレモニー会場で町長は、「南三陸町の復興は、水産業の復興なくしてありえない。この市場を復興の拠点として、みんなで頑張っていきたい。」と話しました。



HOT インタビュー

2学期から、町内の小中学校で英語指導を行っているALT(外国語指導助手)のお二人に話を聞きました。



コミスキー シャノン エリザベス
Comiskey Shannon Elizabethさん

愛称：シャノン 国籍：アメリカ
出身地：マサチューセッツ州
配置校：歌津中学校、志津川小学校、伊里前小学校、名足小学校



バギンスキ エミリー アン
Bagienski Emily Anneさん

愛称：エミリー 国籍：アメリカ
出身地：インディアナ州
配置校：志津川中学校、戸倉中学校、戸倉小学校、入谷小学校

●南三陸町の印象は？

町の被災した風景を見ると悲しく思いますが、新しい店なども建ってきているので、これからの希望を感じます。

●子どもたちの印象は？

どの学校の子どもたちも元気ですね。小さい子どもは「何で目が青いの？」などと質問してくるのでかわいいです。

●好きな食べ物と苦手な食べ物は？

好き：カレーライス
苦手：たこ(見た目がちょっと気持ち悪いから…)

●南三陸町の皆さんへのメッセージ

まだ日本語を上手に話せないで、子どもたちと一緒に勉強していきたいです。よろしくお祈りします！

●南三陸町の印象は？

ニュースでは見ていましたが、実際に目の当たりにしてびっくりしました。でも、心が温かい人たちがばかりなので、必ず復興すると思います。

●子どもたちの印象は？

みんな元気にあいさつをしてくれるので、とてもかわいいです。また、中学生は英語であいさつをしてくれるのでうれしいです。

●好きな食べ物と苦手な食べ物は？

好き：梅干し、そば
苦手：茶碗蒸し(見た目はプリンなのに甘くないから…)

●南三陸町の皆さんへのメッセージ

南三陸町の人たちは、みんな素晴らしい人たちです。きっと大丈夫です。みんなで「ガンバッペ！」

支援を受けて復活 あさひ幼稚園伝統の鼓笛隊

津波によりすべてが流失したあさひ幼稚園で、20年以上続く伝統となっている鼓笛隊が、全国から太鼓などの支援を受けて再び動きだしました。

あさひ幼稚園は、10月から入谷大船沢の公民館を間借りして再開。例年、鼓笛隊には年長組の園児が入隊し、運動会や火災予防運動の出動式などで披露してきましたが、今年は園児の人数が約半分に減ったことから、園児全員で練習を重ねています。

3日後に運動会を控えた11月2日(水)、本番前の総練習に参加した園児たちは、例年の3分の1程度の練習期間にもかかわらず、元気にリズムを合わせて練習をしていました。

園長の小島孝尋さんは、「鼓笛隊は、あさひ幼稚園の誇り。まさか今年中に再開できるとは思わなかったのでうれしく思います。太鼓や衣装の支援をくださった全国の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。」と話してくれました。

